

臨床看護実践能力習熟段階

平成28年3月

看護部教育委員会

	レベル1 (新人)	レベル2 (2年目)	レベル3 (3～5年)	レベル4 (6年以上)	レベル5 (看護管理者)
キーワード	指導や助言を受けながら看護活動ができる ※適応・安全	自分で考え行動できる ※安楽・個性	状況判断し対応できる ※個性・専門性	連携や協調ができる ※専門性・応用	部署の目標達成に貢献できる ※自律・熟練
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 基本的な看護ケアが安全・確実に手順通りに実施出来る 2. 支援のもとで看護過程が展開できる 3. チームメンバーとしての役割が果たせる 4. 院内研修を通して看護の知識が深められる 5. 個人情報・プライバシーに配慮した対応ができる 6. 一事例をまとめて発表できる 7. 先輩や上司に報告・連絡・相談ができる 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 対象に合わせた看護ケアが効率的にできる 2. 顕在化している問題を抽出し看護過程が展開できる 3. チームリーダーになれる 4. 後輩や学生への助言や指導ができる 5. 院内外の研修に参加し、看護実践に生かすことができる 6. 院内看護研究に参加することができる 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 対象の状況に合わせた看護実践ができる 2. 潜在化している問題を明確にし看護過程の展開ができる 3. チームリーダーになれる 4. 後輩や学生の指導や指導者への支援ができる 5. 退院支援ができる 6. 院外研修に参加し、看護ケアに生かす方法を指導できる 7. 看護研究を行い院内外で発表できる 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 医療チームに必要な看護実践ができる 2. 積極的に家族にかかわることができる 3. 社会資源を用いた退院支援ができる 4. チームリーダーの役割モデルになれる 5. プリセプターや臨床指導者への支援ができる 6. 看護研究を行いその成果を業務に活用できる 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 熟練した看護実践ができる 2. 組織を理解して担当部署の目標達成に貢献できる 3. 所属を超えてリーダーシップを發揮できる 4. 看護研究への推進や支援ができ、積極的に研究に取り組むことができる
臨床能力 (看護過程)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 5感を用いて観察できる 2. 受け持ち患者の情報を系統的に収集できる 3. 問題点を抽出し優先順位を考慮することができる 4. フィジカルアセスメントができる 5. プリセプターや先輩の意見を聞いて計画立案ができる 6. 受け持ち患者の看護計画に基づきケアの実践ができる 7. 緊急時の指示を受けて行動できる 8. 患者の安全を考えて確実な看護実践ができる 9. 実践したケアの評価ができる 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 患者の全体像がとらえられる 2. 日常業務の中で患者・家族、看護チームの中から意図的に情報収集ができる 3. フィジカルアセスメントができる 4. 客観的データや身体状況の変化を観察しアセスメントできる 5. 潜在的な問題点を抽出し、カンファレンスで問題提起できる 6. 患者のニーズを踏まえた計画を立案できる 7. 優先順位を考え行動できる 8. 緊急時対応ができる 9. 安楽なケアを実践できる 10. 一連の看護過程を評価できる 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 患者や家族が不安や心配などを表出できるようなコミュニケーション技法を用いて情報収集できる 2. 患者の問題を予測し情報収集できる 3. 顕在化している問題や予測できる問題を明確にし問題提起できる 4. 個性をとらえた計画の立案ができる 5. 個別性を活かした堅固ケアが実践できる 6. 緊急時に速やかに対応できる 7. 実践の評価をフィードバックできる 8. チーム活動の評価ができる 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 他の医療チームメンバーから意図的に情報収集することができる 2. 他職種と連携を図り問題を明確にすることができる 3. 社会資源を活用した計画立案ができる 4. 看護計画に関して後輩に助言できる 5. 経験を応用したケアの実践ができる 6. 社会資源を活用したケアを実践できる 7. 緊急時にリーダーシップを發揮できる 8. 実践の評価をフィードバックできる 9. チーム活動の評価ができる 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 問題の領域を絞り、選択的に情報収集できる 2. 患者や家族の状況を正確に判断し、問題の明確化に向けてスタッフに助言できる 3. 他職者と連携し、問題を明確にできる 4. 計画立案時にスタッフに助言できる 5. 熟練された看護実践を他のメンバーに指導できる 6. 業務フローの見直しを行い改善できる 7. 多様なニーズを取り入れた看護ケアが実践できる 8. 緊急時にリーダーシップを發揮できる 9. 実践した看護を評価しチームメンバーの支援ができる 10. 看護記録から看護の質評価ができる
管理能力	<ol style="list-style-type: none"> 1. 施設における医療安全管理体制を理解できる 2. インシデント・アクシデント報告を速やかにできる 3. 指導を受けながら看護実践の記録ができる 4. プライバシーを保護し医療情報や記録物を扱うことができる 5. 看護部内のシステム・ルールを知っている 6. 自部署の特殊性や業務内容を理解できる 7. 自部署の目的・目標を知り、その達成の活動に参加することができる 8. チームメンバーの役割・機能を理解できる 9. 超すと請求ができ、物品・薬品を大切に扱うことができる 10. 防災マニュアルに沿って先輩の指示のもと行動できる 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 自部署に設置されている機器・物品の点検ができる 2. インシデント・アクシデント事例から危険予知ができる 3. チームメンバーとともに自部署の問題について情報交換できる 4. カンファレンスで発言できる 5. 正確に記録できる 6. プライバシーを保護して医療情報や記録物を扱うことができる 7. コスト意識を持ち物品管理ができる 8. 部署全体の物品在庫状況をみて補充できる 9. 委員会活動に参加できる 10. 未経験の看護技術を実施するとき資料や人的資源を活用できる 12. 防災マニュアルに沿って先輩や上司の指示のもとに行動できる 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 所属部署の機器・物品の管理ができる 2. インシデント・アクシデント事例から対策を評価しフィードバックできる 3. 危機を予測し状況に応じて対応できる 4. 状況に合わせて患者・家族に情報提供できる 5. 医療チームの中でカンファレンスを運営し情報共有できる 6. プライバシーを保護して医療情報や記録物を扱うことができる 7. 病棟目標を理解し、意欲的に取り組むことができる 8. 自部署の患者・看護スタッフの状況に応じた業務調整ができる 9. 自部署の看護ケアの質の評価に参加できる 10. 自部署の業務改善に積極的に意見を述べることができる 11. 上司の指示のもと退院計画を立案できる 12. 自主的にカンファレンスを開催できる 13. 緊急・災害時に上司に報告し対処できる 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 配属部署の機器・物品の管理ができる 2. インシデント・アクシデント事例から対策を評価しフィードバックできる 3. 危機を予測し状況に応じて対応できる 4. 施設内の医療情報に関する規定を理解できる 5. プライバシーを保護して医療情報や記録物を扱うことができる 6. 自部署の目標達成のための活動推進ができる 7. 自部署の患者・看護スタッフの状況に応じた業務の調整ができる 8. 自部署の看護ケアの質の評価に参加できる 9. 自部署の業務改善に積極的に取り組み上司と相談しながら活動推進できる 10. 退院計画を立案し、上司と相談しながら退院調整できる 11. カンファレンスを運営できる 12. 緊急・災害時にリーダーシップをとれる 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 患者ニーズとスタッフの能力を考慮して自部署の管理ができる 2. 看護管理上の問題発見やその解決策を考慮することができる 3. 自部署の方針に基づいた活動を推進できる 4. 退位等する委員会・会議の推進役として行動することができる 5. 主治医や他部門のスタッフと連携し退院調整・支援ができる 6. 効率的なベッドコントロールができる 7. 緊急・災害時にリーダーシップを發揮できる
教育・研究応力	<ol style="list-style-type: none"> 1. 院内教育計画に参加する 2. 病棟の勉強会に参加する 3. 学生の実習報告を受けることができる 4. 受け持ち患者の1事例をまとめて報告できる 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 後輩の指導ができる(プリセプターの役割) 2. 興味のある研修に主体的に参加することができる 3. 研修の学びを報告できる 4. 看護学生への指導ができる 5. 自己やチームで行った研究に参加することができる 	<ol style="list-style-type: none"> 1. プリセプターの役割を実践できる 2. 看護学生や研修者に対して目的・目標に沿った指導ができる 3. 自主的に看護研究を行い院内・院外で発表できる 4. 研究の成果を実践に活用できる 	<ol style="list-style-type: none"> 1. スタッフのレベルにあった指導・支援ができる 2. キャリアアッププランを立案できる 3. 看護学生の臨床指導ができる 4. 看護研究の助言・支援ができ院内外に広めることができる 	<ol style="list-style-type: none"> 1. スタッフの能力開発、人間性の成長を支援することができる 2. 教育プログラムの推進ができる 3. 患者ケアの質評価ができる 4. 看護スタッフの育成ができる 5. 自部署の運営ができる 6. 他部門と連携した行動がとれる
姿勢・態度	<ol style="list-style-type: none"> 1. 時間を守ることができる 2. 健康管理ができる 3. 笑顔であいさつできる 4. 提出期限を守ることができる 5. できること、できないことを明確にし課題に対して継続的に取り組むことができる 6. 患者・家族・同僚とコミュニケーションが取れる 7. 社会人・職業人として常識的な行動がとれる 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 時間を守ることができる 2. 健康管理ができる 3. 笑顔であいさつできる 4. 提出期限を守ることができる 5. 自己の目標を提示し、達成に向けて自ら行動できる 6. 感情のコントロールができる 7. 必須研修を計画的・積極的に取り組むことができる 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 時間を守ることができる 2. 健康管理ができる 3. 笑顔であいさつできる 4. 提出期限を守ることができる 5. 自己のキャリアアップのために何事も積極的に取り組むことができる 6. チームの活性化のためにスタッフをまとめることができる 7. 医療チームにおけるあらゆるかかわりの中で倫理的・道徳的な行動・言動ができる 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 時間を守ることができる 2. 健康管理ができる 3. 笑顔であいさつできる 4. 提出期限を守ることができる 5. 自己のキャリアアップのために何事も積極的に取り組むことができる 6. チームの活性化のためにスタッフをまとめることができる 7. 医療チームにおけるあらゆるかかわりの中で倫理的・道徳的な行動・言動ができる 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 時間を守ることができる 2. 健康管理ができる 3. 笑顔であいさつできる 4. 提出期限を守ることができる 5. 自己のキャリアアップのために何事も積極的に取り組むことができる 6. チームの活性化のためにスタッフをまとめることができる 7. 医療チームにおけるあらゆるかかわりの中で倫理的・道徳的な行動・言動ができる